

◇11月の代禱・信施奉獻先

▽小笠原聖ジョージ教会の働きのため(5日)▽障害者週間のため(12日、18日)▽済州(チェジュ)教会・西帰浦(ソギポ)教会の働きのため▽聖救主教会キッドスクール(幼稚園)のため▽人権活動を支える主日(26日)

◇教区フェスティバル献米感謝

予定されていた教区フェスティバルが荒天のため中止になったにもかかわらず、献米呼び掛けがなされていて、このほど教区事務所経由最終便を受領しました。合計98kgの《教区ブレンド米》は、事前にご指定いただいた左記の活動2団体で拝領して、それぞれで大切に活用いたします。感謝を込めて御礼とご報告を申し上げます。

浅草日曜給食活動
南馬込アグネスこども食堂

◇信仰と生活委員会報告

(10月19日)

報告事項

SSネットワーク
・12月にこどもにゆーすを発行する予定。立教小学校、立教女学院小学校にクリスマス案内を入れ配布
・来年度の新しい委員を推薦

中高生世代キャンプ準備会

・フェスティバル後に予定されていた、リユニオン及びスタッフ会は10月1日に開催、これをもって今期の活動は終了。来期は11月から始動する。
・年間の活動を増やすことを予定している。またサポートスタッフの変更、参加者減など多くの変化が見込まれるため、その対策を考える必要がある。
教区青年会

・場所をお借りしている東京諸聖徒教会との覚書について読み合わせ、その振り返りを見直しを行なった。
今後も見直しをしつつ進む。

協議事項

・教区会に提出する2018年度活動計画について
・12月に行なわれる「正義と平和協議会」主催の講演会「韓国から見た北朝鮮問題と日米(仮)」(講演者はソウル教区柳時京司祭)に共催を提案することを了承

・2018年度代禱信施奉獻先について検討、献金を伴うものと代禱だけのものと分けて表を作成する。

・代禱を覚えるメモリーランド教区との関係は来年度は継続するが、検討する必要がある。

(次回11月29日)

◇東日本大震災、また世界各地の自然災害を憶えて祈る

日時：11月19日(日) 18時

場所：葛飾茨十字教会
* 礼拝後、体験者のお話を伺います。

▽下町聖書の会(11月)

①日時：10日(金) 10時半

場所：神田キリスト教会

②日時：17日(金) 19時

場所：神愛教会

③日時：24日(金) 10時半

場所：神田キリスト教会

今週・来週の予定

10月29日～11月11日

29(日) 聖霊降臨後第21主日

主教巡回

阿佐ヶ谷聖ペテロ教会

31(火) 財政委員会

11月

1(水) 教区墓地礼拝(谷中霊園他)

2(木) 教区墓地礼拝(小平霊園他)

5(日) 聖霊降臨後第22主日

主教巡回 東京諸聖徒教会

・学ぶ箇所は次の主日の聖書箇所です。下町G以外の方の参加も歓迎します。

場所：聖マルコ教会

講師：金賛（キムチン）氏

受講料：無料

主催：聖マルコ教会

▽田園都市線沿線友の会のお知らせ

▽秋のバザー ⑥

日時：11月5日（日） 10時半

10月29日（日）

の礼拝に引き続き

神田キリスト教会

11時半～14時

場所：真光教会

オルガンミニコンサート

映画と話し：ポールラッシュ

11月4日（土）

葛飾学園・葛飾茨十字教会

▽リウエ・タミンガパイプ

11時～

オルガンリサイタル

◇堅信受領

日時：11月5日（日） 14時

10月22日 葛飾茨十字教会

場所：神田キリスト教会

▽田中功一（茨十字）

入場料：2千円

予約・問合せ：神田キリスト教会 TEL03(3251)4981

◇初陪餐

10月1日

▽黒田康太▽黒田慶太（三光）

▽韓国語教室開催

日時：11月5日、11月19日、11月26日、12月17日

◆とこしえの平安

10月22日 下竹 敏夫（81）

各日とも日曜日朝9時～10時まで

東京諸聖徒

◇主日の福音に聴く

日時：11月10日（金） 19時

場所：聖アンデレ教会 聖アンデレホール

講師：雨宮 慧神父

受講料：500円

主催：聖アンデレ主教座聖堂

◇ギリシャ語講座

日時：11月4日（土）

中級・10時半～

初級・13時～

場所：聖アンデレ・主教座聖堂 オフィス

講師：挽地 茂男牧師（日本基督教団千歳丘教会牧師）

主催：聖アンデレ主教座聖堂

「奉献先紹介」

社会事業の日（10月29日）

日本聖公会の総会決議によつて定められ、1977年から毎年の特設25主日を「社会事業の日」と定めています。

聖公会社会福祉連盟からの推薦により、今年は特に「沖縄

愛楽園交流会館」の働きのために祈り、当日の信施をその働きのために献げることとなりました。

「社会事業の日」設置当初の提案理由には、「キリストの愛によつて行われているこれら社会事業は、キリストの救いのみ業の延長線上にあるものであり、キリストの模範にならつてなされるところの日本聖公会の礼拝・伝道・奉仕という使命の一部を担っているものであると考える」とあり、2012年の宣教協議会の提言には、「教会の歩みの中で生まれてきた施設（保育園・幼稚園・学校・医療・社会福祉施設など）が宣教の働きであることを再確認し、地域社会においてそれらの施設と協働していきます」と、教会の歩む道のひとつとして提言しています。

私たちがこの思いを改めて確認し、日本聖公会に属する

すべての社会事業の働きを憶え、神さまの導きと祝福をお祈りしたいと思います。

沖縄愛楽園交流会館は、2015年6月、国立病療養所沖縄愛楽園内に開館され、ハンセン病問題や愛楽園の歴史を通し、平和や人権について考える場として、愛楽園自治会によつて運営されている資料館で、広く一般の方々に知らせる啓発事業を展開しています。

2016年日本聖公会第62（定期）総会では「ハンセン病回復者と家族のみなさまへの謝罪声明」を決議しています。

日本聖公会管区事務所

総主事 司祭 矢萩新一